

防府消化器病センター

一般財団法人

3月

いてふ

Message from our Director

ICHO-No.34 2020

当院外来での AI 問診システムについて

病院長 三浦 修

現在それぞれの職場で働き方改革が進められていると思いますが、医療分野においても多くの厳しい条件のもと、医師や医療スタッフの仕事内容の見直しや効率化、ICT を利用しての省力化などが進められています。

当院では、昨年より医療クークを各外来診察室に配置し、医師業務、看護師業務の中で代替できるものを移管し（タスクシフティング）、診療の効率化を図りつつ、できるだけ診察待ち時間を短縮するなど、患者さんの目線に立った診療体制を検討して参りました。

さらに一つの試みとして、本年4月以降の早い時期にAI問診システムを導入します。これは、外来初診あるいは新規の患者さんへの問診をタブレット端末上で行い、これをもとにAIが作成した文章を病歴として構成し、医師がチェックしたあとに電子カルテ内に取り込むというシステムです。また、紹介状やお薬手帳などもスキャンすることで画像認識＋自然言語処理を行い、テキストとして表示させることが可能となります。スマホも触ったことがないという方でも、簡単な操作で30程度の平易な質問に答えるだけで問診ができてしまうという優れもので、患者さんご自身にとっても問診票を記載する手間を少しでも軽減してくれるものと期待しています。ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

EB ウイルス関連胃癌

山口大学医学部保健学科
防府消化器病センター

基礎検査学
非常勤医師

教授

西川 潤

バーキットリンパ腫から発見された EB ウイルスが胃癌の発生にも関与しているのをご存知でしょうか。私は 1995 年に大学院に入って以来、ずっとこの特殊な胃癌の研究をしています。

EB ウイルス関連胃癌は胃癌の約 10%を占めていますので、現在でも日本で約 4000 人の患者様がこの胃癌で亡くなっていることになります。胃癌の原因としては、ヘリコバクター・ピロリ菌が有名であり、ピロリ菌の除菌治療が胃癌の発生を抑制するとされています。ご存知のとおり、大部分の胃癌はピロリ菌による慢性胃炎を背景に発生します。EB ウイルス関連胃癌も例外でなく、ピロリ菌による慢性胃炎を背景に発生します。それではどちらが、発癌に直接的に関わっているのでしょうか。ピロリ菌はグラム陰性桿菌であり、細菌が起す疾患は基本的に炎症です。しかし、ピロリ菌は巧妙な手口で自分の持つ癌遺伝子を胃粘膜の細胞に注入することができます。従って、ピロリ菌感染が直接、癌化を引き起こすと言えなくありません。一方、EB ウイルスは元々、悪性のバーキットリンパ腫の細胞から発見されており、ウイルスは宿主の細胞内に感染し生き延びます。私は胃癌の発生機序を研究するにあたって、細菌よりもウイルス発癌を選びました。

研究を始めた当時、すでに EB ウイルスが発癌に関連していると考えるに十分なエビデンスが出ておりました。胃癌の切除標本に対して、EB ウイルスの染色を行うとすべての癌細胞の核にウイルスが感染していました(図)。また、そのウイルスの型が単一であり、最初の一つの癌細胞ができた時にこのウイルスが感染していないとこの現象は起こりえません。EB ウイルスは胃癌の発生に直接的に関与していると思いました。そこで私は、胃炎の粘膜の細胞に EB ウイルスを感染させる実験を行いました。大変苦労しましたが、EB ウイルスが感染した胃粘膜細胞は、癌化し増殖するようになりました。培養細胞を用いて、EB ウイルス感染による胃癌の発生を再現できたのです。この発見がきっかけとなり、現在も EB ウイルス関連胃癌の研究を続けています。



EB ウイルス関連胃癌は胃上部・中部に多く存在し、リンパ球浸潤癌という特徴的な組織像を示します。内視鏡的には、胃体部から噴門部の陥凹を主体とした病巣が多く、陥凹の周囲に境界不明瞭な隆起を伴い、粘膜下腫瘍様の形態を呈します(図)。最近、この EB ウイルス関連胃癌が分子生物学的な胃癌分類の一つになり、臨床にも絡むようになってきました。ノーベル賞で有名になった免疫チェックポイント分子阻害剤が効きやすそうです。また、早期の EB ウイルス関連胃癌はリンパ節転移が少なく、内視鏡的に治療できるかもしれません。EB ウイルス関連胃癌に特異的な治療法を開発したいと思っています。

防府消化器病センターでは多くの胃癌が治療されています。1993 年以降に切除された胃癌のほとんどに対して、EB ウイルスを調べさせてもらっています。研究に協力いただいた三浦院長をはじめ、病理検査部の方々に大変感謝しております。また、なにより患者様に研究成果を届けられるようにしたいと思っています。

EBウイルス関連胃癌

上部消化管内視鏡像

EBウイルスの染色像



胃腸科レシピ 牛肉とアスパラのカレー炒め 運動後にはたんぱく質をとろう！



材料(2人分)

牛薄切り肉・・・230g

アスパラガス・・・4本

パプリカ・・・1/2個

サラダ油・・・小さじ2

A { カレー粉・・・大さじ1
ウスターソース・・・大さじ1
酒・・・大さじ1
ケチャップ・・・小さじ1
砂糖・・・小さじ1

塩こしょう・・・少々

◆BCAA（分岐鎖アミノ酸）とは◆

たんぱく質を合成するアミノ酸の一つです。筋肉たんぱく質の分解抑制や合成促進、運動中の疲労感の軽減などの効果があります。

牛肉・鶏肉などの肉類、サンマ・マグロなどの魚類等に多く含まれます。

作り方

1



アスパラガスは根元の硬い部分をピーラーで剥き、3～4等分に切る。パプリカはヘタを取った1/2個を縦に薄く切る。牛肉は食べやすい大きさに切る。

2



フライパンに油を熱し、牛肉を炒める。

3



アスパラガスとパプリカを混ぜ炒める。全体に火が通ったらAを加える。

お好みにより、塩こしょうで味を調えたら出来上がり。

1人分あたりの栄養成分量

エネルギー：261kcal たんぱく質：20.9g 脂質：15.9g

炭水化物：6.6g 食物繊維：1.6g 塩分：0.7g

第2回感染制御研修会 ウイルス感染症

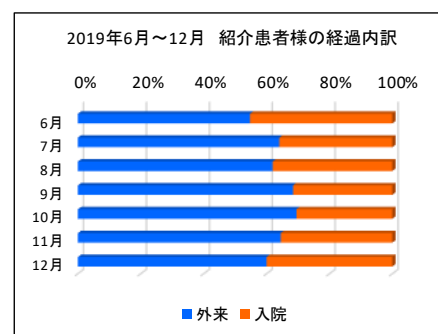
空気が乾燥し、気温が低くなる冬季にはインフルエンザウイルスによる呼吸器感染症やノロウイルス、ロタウイルスなどの感染性胃腸炎が流行します。また、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染対策は世界的に大きな問題となっています。当院では2月20日、21日と2日間、「ノロウイルス、インフルエンザ、新型コロナウイルス」をテーマに第2回感染制御研修会を開催しました。感染制御チーム(ICT)の企画により、「感染対策」、「マニュアル改訂」について講義し、その後、実際の嘔吐処理時にあわてないよう、ICTリンクスタッフチームにより、院内の手順に従って嘔吐物処理の実演を行いました。ノロウイルスは感染力が強く、初動が大切です。今後の感染拡大防止に役立てたいと思います。2日間で116名の参加がありました。ICTとしては今後さらに職員の参加者が増えるよう工夫し、院内における感染対策に寄与したいと考えています。



Renkei

地域医療連携・相談室より

平素より医療機関の皆様方には当院との連携にご協力いただき、ありがとうございます。昨年6月から12月までに当院へ紹介していただいた患者様の経過の内訳は、右記のとおりです。紹介していただいた患者様に最善の検査・治療を行い、検査・治療後は紹介元の先生方に逆紹介できるよう連携を図っていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



外 来 診 療 予 定 表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	藤原 9:00～	三浦	三浦	藤原 9:00～	三浦	交代制
	2 診						
	3 診	三浦	竹尾	柿本	三浦	竹尾	交代制
	5 診	柿本		竹尾	竹尾		
	6 診			鴨打	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1 診	柿本(※1)	休診	鴨打(※1)	休診	休診	休診
	肛門外科	宇都宮(※2)	休診	宇都宮(※2)	休診	宇都宮(※2)	休診
診療日時		受付時間		診療時間			
平日	午前		8 : 0 0 ～ 1 1 : 0 0		8 : 3 0 ～		
	午後 (月・水)		1 3 : 3 0 ～ 1 6 : 3 0		1 4 : 0 0 ～		
土曜日	午前		8 : 0 0 ～ 1 1 : 0 0		8 : 3 0 ～		

※1 都合により代診になる場合があります。

※2 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。
土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代わりの医師にて診療を行います。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL : 0835-22-3339 (代表)

H P : <https://www.hofu-icho.or.jp>



■ 交通機関のご案内

【電車】JR 防府駅よりバス 2 分（防府市役所前下車）

または JR 防府駅より徒歩 1 0 分

【バス】防府市役所前下車

【お車】山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10 分

Editorial Note

3 月を迎え、まさにこれから「春なのに」、医療従事者としては全く気の許すことのできない時が流れています。暖冬にまだ救われているのでしょうか。感染対策上、「見えない敵」に相対しているのは、常のごとしではありますが、どこにいるとも知れない状況での対応はかなり厳しい局面と言わざるを得ません。しかしながら、患者の皆様が安心して医療を受けていただけるよう、職員一致団結し、できることは徹底して参りたいと考えています。皆さま免疫強化して、手洗い励行、この度のインビジュアルに打ち勝ちましょう。

事務局長 栗林左知